

教育研究専攻建築士申請用 (1 / 3)

責任ある立場での実務実績 (様式 5 - 教育研究)

| | |
|------|-------|
| 氏名 | 白山 治郎 |
| 専門分野 | 建築計画 |

注意 1. 責任ある立場での代表的な業務を 1 枚に 1 件で、計 3 枚作成してください。(該当項目は■塗潰してください)
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に 3 枚作成してください。
 2. この申請書は、記入前にコピーし、1 プロジェクト毎に 1 枚記入してください。

| | | |
|--|---|---------|
| 実務内容 | ■ 教育機関における教育・訓練等の業務 研究開発に係わる業務 | |
| 実務経歴期間 | 2002 年 4 月 ~ 2003 年 3 月 | 年 11 ヶ月 |
| 職 名 | 助教授 | |
| 実務実績の項目 | <input checked="" type="checkbox"/> 教育機関において講座を担当 <input type="checkbox"/> 建築学会及び関連機関での公表論文等 <input type="checkbox"/> 研究開発部門での調査・開発プロジェクトに従事 <input type="checkbox"/> 学位論文 (<input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士) <input type="checkbox"/> その他 | |
| 実務実績の内容 | (※上記の実務実績の項目ごとに 1 枚記入してください) | |
| 担当講座：建築設計演習 対象学年：学部 1 年生 履修条件：必修科目 <講義概要> 建築空間を創造していくための知識や手法の習得を目標とする。人間の生活をみつめなおし、住まいに不可欠な要因である機能性、快適性などを考察し、それにふさわしい建築空間をイメージ出来るように導き、しれと同時に、それを表現伝達する手段を講義していく。建築設計能力の初期段階として、身の回りにある今日中宇内の小空間から、順次居住空間全体に拡大して空間を把握し、造形的な想像力とスケールに対する感覚を養い、空間を創造する手法と設計の手順を講義する。 | | |
| ※審査 | ※認定 | |